

〔18年3月号月報の概要〕

1 市場動向の概要随時

(1) 野菜

1・2月の実績

・1月の全体の入荷量は前年並、価格は前年比1割増。2月上旬の入荷量は前年並、価格は前年をやや上回った。中旬の入荷量はやや上回り、価格は前年並となった。

・2月に価格が前年より高かった品目：だいこん、ねぎ、かぶ、みずな、なめこなど

3月の見通し

・入荷量は全般に前年を上回り、ほうれんそう、ねぎ、きゅうりなどは価格が前年を上回る見込み。

(2) 果実

1・2月の実績

・1月の全体の入荷量は前年並、価格は1割減。2月上・中旬の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回った。

・2月に価格が前年より高かった品目：いちご類、メロン類、すいか類

3月の見通し

・かんきつ類、りんご類、いちご類が中心に出回る。

・入荷量は全般に前年並、価格はかんきつ類、りんご類、みかん類などは前年を下回る見込み。

(3) 花き

(2月入荷状況)

・引き続き冷え込みや日照不足等の影響が残り、全体に入荷量は少なめ。特にもの日がなく、ブライダル中心の動きとなった。価格的には落ち着いた展開が中心で、上位等級が少ない傾向であった。

(3月見込み)

・お彼岸、ブライダル、卒業式、会社の異動等に伴う需要が期待できる。こここのところ気温が緩んでいることから、生育遅れによる入荷減はなさそうで、各産地ともピークにキッチリ合わせてくるものと見られる。

2 輸入青果物の品目別累計速報

・17年12月までの入荷実績は、生鮮野菜では数量ベースで前年比111%、金額ベースで99%。生鮮果実では数量ベースで前年比97%、金額ベースで98%となっている。

3 消費地からのホットニュース、トピック

(1) 園芸振興にむけた舞台づくりを考える

(2) 生鮮・加工食品を買うときに重視すること

(3) 担い手の状況と食生活の変化

(4) 世代別、性別 朝食の欠食率